

平成30年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立錦城特別支援学校

学校長 宮本直哉

1 教育目標

人間尊重の理念に立ち、一人一人の児童生徒に対し、その能力や特性に応じた教育を行い、社会参加及び自立のため、仲良く、明るく、元気な人間の育成を目指す。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 加賀市内唯一の特別支援学校として地域との連携が深く、さまざまな障害特性に応じた、きめ細かい特別支援教育を実践する必要がある。
- ② 児童生徒一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育を推進するため、教師の専門性の向上、授業力の向上を図るとともに、労働・福祉・医療等の関係機関との連携を充実させる必要がある。
- ③ 安心・安全な学校づくりをさらに推進するとともに、保護者や関係機関とも連携し防災の取り組みを進める必要がある。
- ④ 地域の関係機関や外部専門家との連携・協力のもとに、地域の特別支援教育のセンター的機能のさらなる充実を図る必要がある。

(2) 児童生徒に関する中・長期的目標

- ① 基本的な生活習慣や豊かな心を身につけるとともに、他者とのコミュニケーション（人間関係）がとれる児童生徒を育成する。
- ② 体力・身体機能の維持、増進を図るとともに、物事に意欲的に取り組み、最後までがんばることができる児童生徒を育成する。
- ③ 社会参加及び自立のために、児童生徒の基礎的な生活スキル・学力・働く力を向上させ、高等部卒業後の希望進路の実現を図る。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 専門性の向上や授業実践力向上に努め、児童生徒一人一人のニーズに応じた教育活動を展開する。
- ② 児童生徒の自立に向けた適切な指導・支援、関係機関との連携等により、保護者や地域から信頼される。
- ③ 教職員の危機管理意識を高め、学校の状況を踏まえて危機管理体制を確立する。
- ④ 働き方について教職員自身の意識を高めるとともに、学校の課題を検証し、改善に向けた取り組みを進める。

3 今年度の重点目標

- (1) 児童生徒の主体性を引き出すための授業改善と専門性の向上を図る
- (2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路支援の充実を図る。
- (3) 児童生徒の安心・安全に配慮した学校づくりを推進する。
- (4) 本校の教育活動の情報発信や専門性を活かして特別支援教育のセンター的役割を推進する。
- (5) 教職員がそれぞれの立場で働き方改革の意義を理解して取り組みを進める。